

地域おこし協力隊初任者研修(令和2年度)

1. 趣旨

新たに着任した地域おこし協力隊員が、先輩隊員の経験を交えながら、地域への溶け込み方を学ぶ。また、先輩隊員との座談会を通して、初任者が抱く疑問やウィズ・アフターコロナにおける活動に対して助言を得る。

2. 日時・方法

令和2年8月6日(木)10:00~11:45

WEB 会議アプリケーション「zoom」を利用したオンライン研修

3. 対象及び参加者数

- ・ 委嘱から概ね1年以内の市町村地域おこし協力隊員 30名(20市町村)
- ・ 地域おこし協力隊担当職員 7名(7市町村)

4. 内容

- ① 全国及び県内の取組・受入状況等の紹介
- ② 地域おこし協力隊制度の説明
- ③ 先輩隊員からの体験談の紹介
- ④ 先輩隊員との座談会(グループ毎)

先輩隊員(五十音順)

杉山 豊さん	長野県協力隊、豊丘村 OB 【都市農村・地域交流拠点】
大森 祐助さん	山ノ内町 OB 【りんご農家】
大日方 冬樹さん	小谷村 OB 【観光振興、自然体験】
木本 由美さん	飯島町 【健康づくり運動業務】
副島 優輔さん	佐久穂町 【移住交流、空き家対策、情報発信、集落運営支援】

(当日の様子)



5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケート結果より)

- 先輩隊員や参加者のリアルな体験談をたくさん聞けてよかった。
- 座談会が活動分野ごとにグループとなっており、大変盛り上がった。同じ悩みや想いを共有できてよかった。
- コロナの影響でなかなか交流ができない中、良い試みになったと思う。
- 協力隊員同士が情報交換できる場があると嬉しい。
- 座談会の時間が不足していた。時間を長くしたり、グループ当たりの人数を少なくしたりしてほしい。

(以上)